

## 技術士スワン母校に帰る —室蘭栄高校 OB 技術士による進路講座—

盛山 拓也

### 1. 技術士スワンのご紹介

技術士スワンは室蘭栄高校同窓(白鳥会)の技術士相互の親睦を図るとともに、会員の自己研鑽及び室蘭地域圏の発展へ向けて技術士として貢献することを目的に、平成17年に7名で発足し、現在25名の会員で活動しています。

### 2. 栄高塾とは？

室蘭栄高校では、文理選択前の1年生に対し、「将来の職業を考え自己の進路選択につなげる」ことを目的に、各分野のプロ(医療、法律、メディアなど)による進路講座を毎年開催しています。工学系へ進む学生も多いため、広義のエンジニアについての職業講話として、技術士スワンが今年から参加させて頂きました。

### 3. 実施概要

開催日時：R1.10.23(水) 15:20～16:05

講義内容：「技術士」という人生の選択

対象者：室蘭栄高等学校1年生34名

参加者：田中 輝幸(S46卒、総監/建設)

金子 潤一(S53卒、総監/建設)

金子 友美(S54卒、総監/水産)

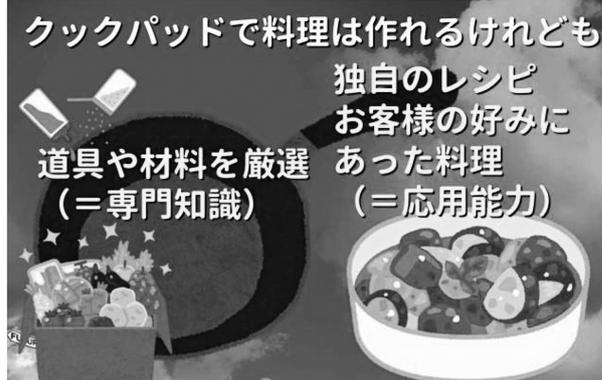
盛山 拓也(H3卒、建設)

永井登茂美(H5卒、総監/建設)

### 4. 技術士とは？

永井技術士より、「技術士の定義」について、①多くの専門分野があること、②専門知識を使いこなせる(応用できる)技術者であることを、わかりやすい言葉を用いて説明しました。その後、田中技術士、金子(潤)技術士、金子(友)技術士、盛山技術士より、自身の専門分野についてお話ししました。

### 「技術士」とは？



### 5. 技術士という人生の選択(永井技術士)

#### (1) 技術士になるまで

「技術士」を選択するまでの経緯について、なりたいたい職業史(はじめから技術者ではなく看護婦さんやピアノの先生)と職歴(ハウスメーカーや設計事務所)を踏まえお話ししました。これから進路を考える1年生に対し、進路の選択はあせる必要がなく、紆余曲折しながらも少しずつ自分で切り開いていくのだ！ということを伝えました。

#### (2) 技術士としての仕事

建設部門(都市及び地方計画)の技術士として、「まちづくり」に携わっており、将来どのような「まち」になったらよいか、また、実現するためにどうしたらよいかを考える仕事についてお話ししました。

具体的には、「まちづくり指針」を作成する業務において、指針をつくることのみで終わるのではなく、住民との協働による“お試しカフェ”などの試行的な取組を提案した事例を紹介しました。これにより技術士は、お客様の要望をかなえつつ、よりよい方法、より社会に役立つ方法を考えて実行する(応用できる)技術者であることを改めて説明しました。

(3) これからの働き方

永井技術士の1日をワークとライフで切り分けて、働ける時間が限られていること、その時間をどのように使うべきかについてお話をしました。

～生徒への「仕事」についての質問～

- A 時間をかけてでもよりよい成果を出すべき
- B 決められた時間のなかで成果を出すべき
- C 成果が出せれば時間は関係ない

技術士の皆さんはこの質問に対し何と答えますか？(迷いながらAでしょうか…)実は生徒の答えはほとんどがBでした。また、ワークライフバランスという言葉を知っているか？の質問にもほぼ全員が知っているとのことでした。

この辺りは情報量の多いネット社会の子供たちという印象を受けましたが、高校生が既に当たり前のことと捉えていることから、私たちの働き方改革も急務であることを再確認しました。



写真-1 講義の様子

(4) 伝えたいことのまとめ

最後に伝えたいことを以下のようにまとめました。

**今日のお話で伝えたいこと**

- ① 今できることが全てじゃない。  
進路は自分で切り開いていける。
- ② 「技術士」はやりがいのある仕事。  
進路の選択肢の1つに加えてほしい。
- ③ 幸せな人生のために、限られた時間を仕事にどう使うか。今できること(＝勉強)を精一杯がんばろう！

6. 生徒からの質問

積極的に質問が出され、「企業のHPに記載されている技術職・研究職・開発職それぞれの違いは何か?」「すぐにでも受験できるか?」「日本では研究的な仕事にお金を出さないと聞いているが、今の職業につくにあたって不安はなかったか?」などなど、こちらが回答に窮するような質問もありました。

もちろん全ての質問に対し、田中技術士、金子(潤)技術士、金子(友)技術士を中心に丁寧にお答えしました!

7. おわりに

技術士スワンとして初めての取り組みでしたが、生徒たちのアンケート結果からは「技術士に興味を持った」や「将来の選択肢が広がった」など、概ね理解を得ることができたのではないかと思います。

他方、講義を聞くときの真剣な眼差しや、メモをとる姿勢、レベルの高い質問内容など、本当に高校生(しかも1年生)なのかと驚きました。決して真面目だったとは言えない私の高校時代を思い出し、少々恥ずかしい気持ちにもなりました…。

室蘭栄高校は「質実剛健」と「文武両道」を校是とし、勉学と部活を両立しながら巣立っていった同窓生に支えられ、平成29年に創立100周年を迎えました。また、平成21年から、文部科学省「スーパーサイエンススクール(SSH)」の指定を受け理数教育の更なる充実を図っています。

今回の技術士スワンの小さな一歩が、大正から令和へ続く同校卒の技術者の架け橋として、新たな技術士の誕生や創造性に満ちた技術者の育成へ一翼を担っていける取組みになるように、次年度以降も参加し、ブラッシュアップしていきたいと考えます。

最後に室蘭栄同窓技術士の皆様へ。技術士スワンは広い分野で連携できる力を有したエネルギーな集団です!是非とも入会をお待ちしております!

**盛山 拓也** (もりやま たくや)  
技術士(建設部門)

道央技術士委員会 幹事  
株式会社メイセイ・エンジニアリング

